

研究タイトル:

地域におけるオープンデータの整備と活用



氏名: 嶋田 鉄兵 / SHIMADA Teppei E-mail: shimada@asahikawa-nct.ac.jp

職名: 助教 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 電子情報通信学会, 情報処理学会, 日本データベース学会

キーワード: オープンデータ, Web システム, データベース, LOD(リンクデータ), GIS(地理情報システム)

技術相談
提供可能技術:
 ・オープンデータの作成と利活用
 ・オープンデータを用いた Web システム・Web アプリケーションの開発
 ・データベースを用いたシステムの開発

研究内容: オープンデータの整備と Web システム・Web アプリケーションの開発

オープンデータは、Web 上にて公開された二次利用の可能なデータであり、データの再利用・再配布や商用利用が認められています。使用時の制限はデータ作成者のクレジットの明示(CC BY)のみに留められており、データ活用の推進が図られているのが特長です。日本でも国や地方公共団体を中心としてオープンデータの整備が進められており、統計のほか観光や公共交通、医療、農業など各分野での利活用が進められています。

当研究室では、主として北海道におけるオープンデータの整備や、オープンデータを用いた Web システム・Web アプリケーションの開発を行っています。

例 1) あさひかわ防災マップ

旭川市オープンデータ「避難所一覧」「避難場所一覧」「AED 設置事業所一覧」などをもとに、旭川市の防災に関する情報を閲覧できる Web マップを作成しています。(図 1)

例 2) GTFS Viewer

公共交通データフォーマット GTFS および「標準的なバス情報フォーマット」(GTFS_JP)(国土交通省策定)に基づくデータを可視化して閲覧できる Web アプリケーションを開発しています。現在は、オープンデータとして公開されている国内のデータを対象として、路線マップの生成と表示、時刻表表示、簡易時刻検索等の機能を構築・実現しています。(図 2)

その他、統計オープンデータの可視化に関する研究などを行っています。

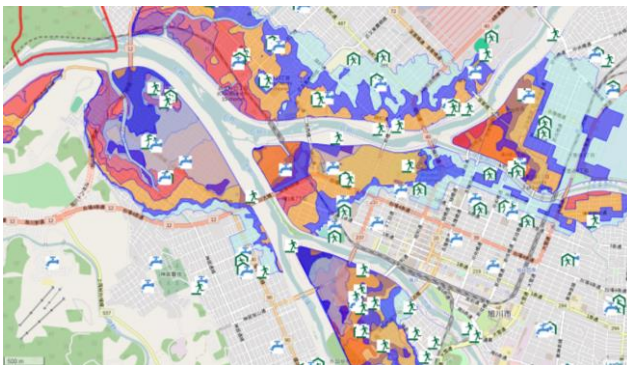


図 1 あさひかわ防災マップ

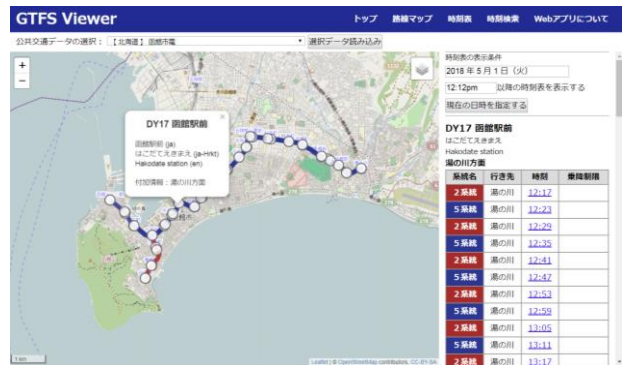


図 2 GTFS Viewer

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	